



平成 29 年 5 月 25 日

各 位

会 社 名 東洋エンジニアリング株式会社  
代 表 者 取締役社長 中尾 清  
(コード：6330、東証第一部)  
問合せ先 契約法務本部長 井上 光彦  
( TEL : 047-454-1170 )

当社公表資料の差し替えに関するお知らせ

当社は、5月19日（金）13時30分に公表いたしました「経営方針2017年3月期決算説明会」資料について修正がありましたので、同資料を修正後のものに差し替えることをお知らせいたします。

以 上

*Mission: Engineering for Sustainable Growth of the Global Community*

*Vision: Global Leading Engineering Partner*

*Values: Integrity, Creativity, Diversity, Learning, Team*



# 経営方針

2017年3月期 決算説明会

2017年5月19日

東洋エンジニアリング株式会社

1. 2017年3月期 業績
2. 米国エチレンプロジェクトの状況
3. 進行中主要プロジェクト
4. 2017年3月期(再建計画2年目)総括
5. 事業環境認識
6. 2018年3月期経営方針～再建計画の強化
7. 2018年3月期 業績見通し
8. TOYOが目指す姿

# 1. 2017年3月期 業績

- ◆ 見込比で、営業利益減(売上高減による売上総利益減。一部完成案件のコスト増)
- ◆ 一方、営業外損益の良化等により、当期純利益は14億円

(単位：億円)

	決算	通期見込 2017/2/10付	差異
売上高	4,319	4,500	Δ181
売上総利益	159	185	Δ26
売上総利益率	3.7%	4.1%	Δ0.4%
販管費	179	185	6
営業利益	△20	0	Δ20
営業外損益	36	10	26
経常利益	16	10	6
当期純利益	14	0	14
受注高	1,167	1,100	67


- ◆ 受注残高： 4,926億円
- ◆ 配当見込： 期末2円


## 2. 米国エチレンプロジェクトの状況

- ◆ 第3四半期に地盤・杭問題に関する損失計上
- ◆ 更なる損失の防止策
  - 品質管理体制を強化し、工事のプロダクティビティ管理を徹底
- ◆ プロジェクト進捗状況（2017年3月末時点）
  - 杭工事完了。全体としてキャッチアッププラン通りに進捗
  - 基礎工事・鉄骨・配管据付・大型機器据付進行中


# 3. 進行中主要プロジェクト


2017年3月31日現在


 ロシア  
2013 製油所近代化


 トルクメニスタン  
2014 ガス石化コンプレックス


 インド  
2015 肥料  
2014 LNGターミナル


 マレーシア  
2014 エチレンコンプレックス

 インドネシア  
2017 天然ガス圧縮設備  
2015 合成ゴム  
2015 都市高速鉄道

 日本  
2015 メガソーラー x1基  
2014 メガソーラー x1基

 タイ  
2016 ガス発電SPPx5基  
2015 ガス発電SPPx5基  
2014 ガス発電SPPx1基

 米国  
2015 エチレン  
2014 ポリエチレン

 ブラジル  
2013 FPSO トップサイド  
(P-74)

※表示は受注年度

# 4. 2017年3月期(再建計画2年目) 総括

## 方針

## 結果

ブラジルビジネスにおける  
リスク管理強化



- ◆ P-74 FPSOは適切な管理の下、順調に進捗
- ◆ ヤードの追加減損処理

メガプロジェクト遂行管理  
の徹底



- ◆ 米国エチレン地盤・杭問題に関する損失拡大
- ◆ 他メガプロジェクトは順調に推移

収益性改善の継続



- ◆ 受注採算性の確保と販管費抑制は達成
- ◆ 米国エチレンなどによる収益性悪化

受注目標2,500億円



- ◆ 市場の低迷もあり大幅未達  
(1,100億円)

2018年3月期受注目標： 2,500 億円

## ◆ プラント事業

- 石化・肥料を主とするダウストリームでは、米国、東南アジア、インド、ロシアCISなどで需要の回復を見込む

## ◆ インフラ事業

- 電力自由化による国内発電案件市場拡大
- 東南アジア経済成長を受けた堅調な発電等の需要

## ◆ 資源エネルギー事業

- 油価回復に伴う油田寿命延長案件に期待
- 新規ガス開発案件は少ないが、油田随伴ガス処理案件は増加



## ◆ プロジェクト収益の確保

- 特定プロジェクト事業本部の新設によるメガ案件の集中管理
- 品質管理の強化によるコスト増の防止

## ◆ 受注の確保

- 営業・プロジェクトの一体化による客先への提案力強化
- 技術力・パートナーリング・コストダウンの追求による競争力強化

## ◆ 企業基盤の強化

- 選択と集中による経営資源の戦略的再配分
- 企業価値を高める人財育成、企業文化変革の継続

## ◆ イノベーション推進

- 既存ビジネス分野での付加価値向上
- 当社の強みを生かす新規事業の開発

# 7. 2018年3月期 業績見通し

(単位：億円)

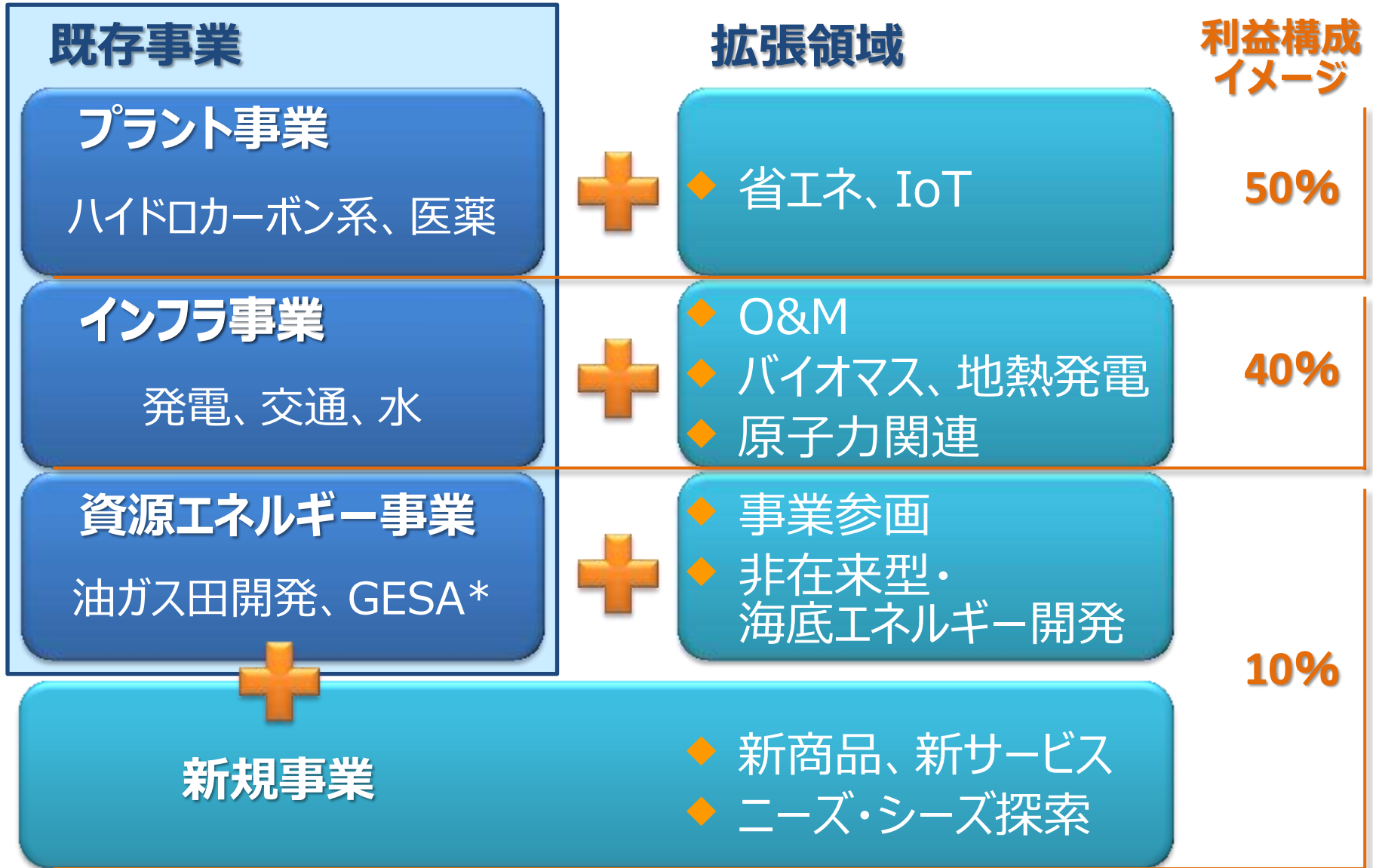
	通期見込
売上高	3,700
売上総利益	275
売上総利益率	7.4%
販管費	210
営業利益	65
営業外損益	△15
経常利益	50
当期純利益	20
受注高	2,500

◆ 配当：年間3円\*（予定）

\*株式併合前の金額。株式併合を考慮した1株当たり年間配当は15円。

（2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施予定）

# 8. TOYOが目指す姿



\*GESA : General Engineering Service Agreement



# 東洋エンジニアリング株式会社

URL <http://www.toyo-eng.com>

【お問い合わせ】

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-8-1

広報・IR部長 飯田 渉

電話 047-454-1681

E-mail [ir@toyo-eng.com](mailto:ir@toyo-eng.com)

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。